

令和 5 年度
事務事業評価シート
(学校教育課)
(学校給食共同調理場)

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 教育委員の活動	12
2 授業の充実	
（ 1 ） 理科支援員の配置	13
3 特別活動の充実	
（ 1 ） 小・中学校作品展の開催及び音楽交歓会の開催	14
4 体育・健康教育の充実	
（ 1 ） バイキング給食の日	15
（ 2 ） 学童スキー大会の開催	16
（ 3 ） 大会派遣費補助事業	17
5 生徒指導の充実	
（ 1 ） 教育相談室設置事業	18
（ 2 ） 生徒指導委員会	19
6 キャリア教育の推進	
（ 1 ） 職場体験・職業講話	20
（ 2 ） 人財育成事業	21
7 特別支援教育の充実	
（ 1 ） スクールサポーター配置の充実	22
8 国際化、情報化に対応する教育の推進	
（ 1 ） 英語で元気なまちづくり事業	23
（ 2 ） ICT環境整備及び活用に向けた教職員の研修	24
9 研修の充実	
（ 1 ） 教職員ふるさと研修	25
（ 2 ） 初期層研修	26
10 教育環境の充実	
（ 1 ） 教育連携パートナーシップ協定事業	27
（ 2 ） 学校施設営繕・設備保全	28
（ 3 ） 教材備品等の整備	29
（ 4 ） 小学校新築事業（新規）	30
（ 5 ） 野辺地町立学校における働き方改革	31
11 その他	
（ 1 ） 教育広報の発行	32
（ 2 ） 給食費の未納対策強化	33
（ 3 ） 就学援助事業	34
（ 4 ） 新型コロナウイルス感染症への対応	35
12 学校支援活動	
（ 1 ） 学校支援推進事業	36
13 学校保健の取組み	
（ 1 ） 児童・生徒各種健診及び教職員健診	37

事務事業評価シート

施策名	教育委員の活動	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育委員の活動	担当者名	古林 輝樹

事業の目的・内容	教育長及び4名の教育委員が、毎月の定例会や行事等に参加することにより、地域住民の実情に応じた教育行政を展開する。		
事業の対象	教育委員・課長・課長補佐		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	196千円	256千円
			令和6年度予算
			364千円

事業の実績・成果等(数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会への出席及び審議(毎月 年12回) (教育施策の一般方針の制定、規則・規定の制定、教育予算への意見等) ・小中学校へ学校訪問(年1回) ・小中高等学校の行事へ参加(入学式、運動会、卒業式等) ・その他、児童生徒に関する行事へ参加 ・総合教育会議等で町部局との懇談(年2回)
---------------	---

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・定例会においては、当町の教育課題についての提言や協議がなされている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、しっかり現場に寄り添っていただきたい。 ・昨今は野辺地町も少子化による小学校統合が進んでいますので、教育委員の皆様にはそのような所へ寄り添った活動をしてほしい。 ・学校内外の全体をよく知り、更に良い教育前進のために今後も活動を希望します。 ・継続して活動していただき、野辺地町の良さをアピールしてほしい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・現場への寄り添いを継続してほしい。 ・学校行事や児童生徒を直接目にすることで、今後もより良い教育行政が期待できると思う。 ・未来ある子どもたちをしっかりと、その働きの中で育てられるよう助言、指導をお願いしたい。 ・勉強を通じて成長することも大切だが、心の成長の為に是非、活動を希望する。 ・学校訪問の回数が少ないように感じる。年に4～5回ほどは必要と考える。(行事以外で) ・様々な現場の声をくみとって、これからの教育の発展のために活動を継続してほしい。

事務事業評価シート

施策名	授業の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	理科支援員の配置	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	理科の観察・実験活動の充実を図るため、観察実験のアシスタントとして、観察・実験活動に使用する設備等の準備、調整、片付けや試薬等の調整、調合を行う理科支援員を設置する。		
事業の対象	町内小学校		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	1,608千円	1,551千円
		令和6年度予算	2,144千円

事業の実績・成果等 (数値)	○理科支援員の配置 理科支援員1名を町内小学校に配置。3年生から6年生の観察実験のアシスタントをする。 月・木：若葉小 火・金：野辺地小		
	※馬門小学校の閉校により、令和5年度から週4日勤務		
	○実績 4年生 58時間(線香の煙を使って空気の温まり方を調べる実験の補助 など) 5年生 13時間(振り子の周期を調べる実験の補助 など) 6年生 60時間(光電池の光の量による電流の強さを調べる実験の補助 など)		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている		
	評価説明及び考察、課題 今後も事業を継続し、観察・実験を通して子どもたちの興味関心を高めるとともに、思考力の育成に努めていきたい。 また、教員にとっては実験器具の準備や片付けの時間を他の業務に充てることができ、働き方改革にもつながっていると思われるため、今後も継続したい。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合小学校の動きに合わせ、備品管理や整備のほか、各校の台帳作成についても業務として明記して対応してほしい。 ・ 担任教師の負担軽減と子どもたちの学力向上に寄与していますので、十分な成果だと思う。 ・ 担任の教師とも連携をとりながら、良き指導をしていただきたい。 ・ 結果が出ている事業なので、更なる活躍を期待します。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ もし必要であれば、他の教科でも支援員配置を検討してほしい。 ・ 専門知識の必要な理科の授業を通じ、子どもたちの興味、関心がさらに深められるようになることを希望する。 ・ 教員の負担軽減のためにも継続してほしい。 ・ 先生方の負担減に加え、学力の向上につながっている事業なので、長く継続してほしい。

事務事業評価シート

施策名	特別活動の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小・中学校作品展の開催及び音楽交歓会の開催	担当者名	清水目 唯那

事業の目的・内容	小中連携事業の一環であり、特に音楽交歓会においては、幼稚園や保育園と交流する機会を設けたりしている。		
事業の対象	町内の幼児、児童生徒		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	50千円	60千円
		令和6年度予算	60千円

事業の実績・成果等 (数値)	○作品展 描画・版画合わせて273作品から入賞作品120点が選ばれた。 入賞作品を各学校に移動展示し、来校者に見てもらおう場となっている。
	○音楽交歓会 10月31日(火) 野辺地小学校 講堂 各小学校5・6年生、中学校吹奏楽部、カトリック幼稚園の園児が発表を行った。

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	作品展及び音楽交歓会について、地域住民へ日頃の学習の成果を発表する場となっていると共に、児童生徒が他の学校の子どもの頑張りをみることで、お互いの刺激になっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園、高校も入れて新しい在り方を近年中に検討していく必要がある。 ・実行委員会を担当する学校への負担軽減についても配慮が必要である。 ・子どもたちが頑張って作成した作品や、頑張って練習した音楽が発表できる場所は絶対に必要だと思うので、開催を期待する。 ・音楽交歓会は、普段の練習の発表場としてとても良い機会となっている。コロナ禍でなかなかできないが、今後も続けられることを希望する。 ・子どもたちの才能を発揮する機会なので、開催時期や場所等をもう少し町民に対してアピールしてもよいのではないか。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場の負担軽減を検討する必要あり。(今後、必要かも含めて) ・作品の展示や音楽を発表することによって、子どもたちも嬉しいと思うし、楽しみにしている保護者も多いと思う。また、幼、保、小、中が交流できるのもいい機会だと思う。 ・コロナも5類となり、活動がしやすくなったため、以前のような音楽交歓会に戻つつあるが、町民に対してのアピールをもっとした方がよいと思う。 ・作品展を公民館でも行ったり、音楽交歓会の開催案内を広くPRするなど、発表の場を多くしてほしい。 ・小学校が統合され1校になる中、幼、保、中、高の子どもたちが減っていくことは現実問題なので、どのような開催方法がよいのか検討していく必要がある。
--

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校給食共同調理場
事務事業名	バイキング給食の日	担当者名	寺澤 いづみ

事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスのとれた食事で、自分にあった量を決められた数の中で選択し、容器にきれいに並べることが出来る。 ・苦手な食べ物でも食べる努力をし偏食を直す。 ・食事のマナーを学ぶことができ、修学旅行の事前学習として役立てられる。 ・栄養教諭による出前授業は、小・中学校全てで実施し食育指導を実施する。 			
	事業の対象 バイキング給食：小学校5年生、中学校3年生 食育指導：小中学校児童生徒			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	－ 千円	－ 千円	－ 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・栄養教諭による食育指導状況 野辺地小学校 8回 若葉小学校 8回		
	・バイキング給食実施回数 2回 野辺地小学校(5年生) 若葉小学校(6年生)		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】食育指導の実施で偏りのない食事のとり方等を理解したり、楽しく食事がとれるよう学び、苦手なメニューも食べるようになる。選択する楽しみや食事量・組合せを考えたり食事のマナーや友達を思いやる心を学ぶことができる。 【課題】メニューの種類が必要になるため、コスト面が課題となっていたが、給食費を改定し、栄養士のメニューの工夫により、バイキングを楽しんでもらうことができた。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続を望む。 ・人が生きるということは食べることなので、人生を豊かにする食を学ぶことができる良い事業だと思う。 ・食育と食べる喜びを学べる1日は、児童生徒にとって大変貴重な時間となっていると思う。物価高なので予算が足りているか気になるが、継続を希望する。 ・食べることは命に繋がるので、その食を楽しみながら考える場所を提供して下さるのはとても有意義だと思う。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・バイキングはよいが、完食したクラスのリクエストを聞くような「ごほうび」・・・という名称は時代に合わないし、現場で問題の原因となることもあるので、誤解されない名称を検討してほしい。 ・栄養の大切さやマナーを学べることはとても良いことだと思う。また、自分でバランスを考えて食事を選択することは大切なことだと思う。 ・食の楽しみを通じてお互いコミュニケーションをとりながら、さらに健康についても学びとなることを望む。 ・たくさんの方の手があつての食を、感謝する心を育てられたらと思う。 ・担当課の評価のとおり。中学校でも実施できればよいと思う。 ・家庭では味わえない、自分で考え食べるという学習を給食でできることは、とても有意義だと思う。
--

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学童スキー大会の開催	担当者名	柴崎 駿

事業の目的・内容	①町内学校の冬季体育（学校スキー）を通して、運動能力の向上を図る。 ②大会参加を目指して練習・努力する過程を通して、人間性の育成を図る。 ③ルールに従い培った能力を表現する活動を通して、正しい競技参加能力を育てる。		
事業の対象	小学6年生（例年であれば小学4年、5年、6年生）		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	65千円	3千円
			令和6年度予算
			190千円

事業の実績・成果等 (数値)	教育振興会主催の事業であり、運営に係る費用は町からの補助金となる。		
	R1	通常の形態での開催（新型コロナウイルス感染症の感染拡大前）	
	R2	参加児童を小学6年生に限定して開催	
	R3	開催中止（新型コロナウイルス感染症の影響による）	
	R4	参加児童を小学6年生に限定して開催	
	R5	開催中止（雪不足と悪天候の影響による）	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	残念ながら中止となったが、天候状況と会場の状態を考慮し、児童の安全を第一に迅速に判断できた。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	C	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・リフトの復旧を望む。 ・新しい大会の在り方を近年中に検討していく必要がある。 ・実行委員会を担当する学校への負担軽減についても配慮が必要である。 ・スキー場のトラブルがある中で開催ができて良かったと思う。今後は小学校統合が進むので事業の見直しが必要だが、スキー以外の競技も前向きに検討してほしい。 ・雪国でなければ体験できないスポーツなので、アルペンはなくなってもクロスカントリーを継続してほしい。クロスカントリーと聞けば「野辺地町」となってほしい。 ・休止、廃止を検討しているとのことで大変残念。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場の負担軽減を検討する必要あり。(今後、必要かも含めて) ・スキー発祥の地として継続をお願いしたい。 ・スキー場のリフトの復旧はなかなか困難と見受けられるが、アルペンができなくても、クロスカントリーの方のケアを大切に、野辺地町ならではのスポーツの1つとなってほしいと願っている。 ・今後どのように展開するかは不明だが、大会休止となっても日常の授業でのスキーは続けてほしい。 ・野辺地町といえばクロスカントリースキーの伝統の町であると町民のほとんどが認識していると思うので、できれば継続してほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	大会派遣費補助事業	担当者名	中村 悠貴人

事業の目的・内容	町内の小学校又は中学校に在籍する児童生徒を対象に、スポーツ・文化活動における大会へ参加するための費用を補助する事業。 保護者の負担を軽減するとともにスポーツ・文化活動の振興を図るものである。		
事業の対象	小中学校、スポーツ少年団など		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	5,148 千円	3,703 千円
			令和 6 年度予算
			3,760 千円

事業の実績・成果等 (数値)	(中学校) 地区大会：吹奏楽 県大会：吹奏楽、ハンドボール、陸上、柔道、駅伝、スキー、バドミントン、卓球 東北大会：ハンドボール、柔道 全国大会：スキー、ハンドボール、空手 …22大会 3,120,650円		
	(小学校) 地区大会：マーチングバンド部 全国大会：空手、レスリング、スキー …5大会 582,008円		
補助対象経費【補助率】 参加料【2分の1】、交通費【2分の1】※指導者引率者は全額 宿泊費【2分の1】※指導者引率者は全額、その他プログラム購入費等			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
評価説明及び 考察、課題	開催される東北大会や全国大会も徐々に増え、令和4年度と比べて本事業を利用した大会数は増加した。 大会費用を補助することでスポーツをする子どもの保護者の負担を減らすために必要である。本事業を町のスポーツ活性化に役立てて、今後とも継続していきたい。	
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・不公平感のない対応をお願いしたい。 ・普段から努力して優秀な成績であれば当然東北大会や全国大会出場になるが、その子どもたちを地域の方々が支えている、応援していることを実感できる事業だと思います。 ・大会に参加するには参加費が必要となるため、大変助かると思う。 ・保護者の負担の軽減もさることながら、日々努力している児童生徒の結果を町が応援してくれていると思える事業なので、継続を希望する。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・不公平感のない対応をお願いしたい。 ・経済的な理由で大会参加を諦めることがないように継続をお願いしたい。 ・継続を強く希望します。 ・多種多様な大会への派遣費の補助がされており、今後も是非継続していくべきと考える。 ・町内の各スポーツ団体、部活動、文化活動に参加している全ての子どもたちを応援する事業なので、不満のない形で行ってほしい。

事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育相談室設置事業	担当者名	向中野 純子

事業の目的・内容	町勤労青少年ホーム内に野辺地町教育相談室を設置し、悩みを抱えている子どもたちや保護者、教職員に対して、支援や助言を行う。 主任教育相談員1名・相談員1名、スクールソーシャルワーカー(SSW)1名。 相談受付：月～金、9時～15時		
事業の対象	児童生徒・保護者・教師		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	4,733千円	5,146千円
			令和6年度予算
			7,249千円

事業の実績・成果等(数値)	○相談実績 (総計 449名) 面接相談(来室・訪問等) 小学生36 中学生186 高校生40 他13 計 275名 電話・メール相談 小学生48 中学生92 高校生27 他7 計 174名 ○通室活動実績 中学生4名、小学生2名の通室があった。(通室日は学校出席日数に換算) ○スクールカウンセラー(SC)の配置(小学校担当1名、中学校担当1名) ・年間配置数は野辺地中は40日、野辺地小20日、若葉小20日 (R4までの馬門小に派遣した分をR5から野辺地小へ回し、野辺地小にも年20日派遣) ・延べ相談者数は減。野辺地中74名、野辺地小7名、若葉小19名 (同じ児童生徒や保護者が定期的に利用し、相談時間を長く取る事案が多かった) ○巡回訪問 ・発達障害や家庭での保護者の関り等に起因する支援が必要な場合は、SSWや主任教育相談員が電話1本で学校に出向き、支援に当たる。		
---------------	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	学校に通いながら週2～3回通室したり、毎日休まずに通室している生徒もいる。それぞれ、学校及び担任との連携を密にしながら、個々の特性や興味に合わせて学習や社会体験を積み重ねている。中学校卒業後も、高校生活が軌道に乗るまで学習相談に訪れることもある。通室生、その保護者、学級担任などが気軽に近況を報告したり、相談したりできる場となっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・登校渋りや不登校の子どもは全国でも増え続け、当町も例外ではない。多種多様な教育相談があると思うので、今後も支援の充実を図っていただきたい。 ・便利な世の中になって心が豊かになったかと思えばそうではなくて、逆に忙しく心を休める場所を見つけられなくなっている。必要な相談室なので、継続を希望する。 ・時代の流れにより相談の方法は様々変化しているが、変化に柔軟に対応し、より良い状態に持っていこうという努力が伺える。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒以外にも保護者や教職員にも対応していることが素晴らしいと思う。 ・年々全国的に増加している現状なので心の居場所、自分自身の存在に意味が持てるような働きを、今後も継続してほしい。 ・小学校から高校まで広く対応されており、教育職・保護者の負担を減らすためにも継続してほしい。 ・不安を抱える子どもたちに寄り添う事業なので、さらに強化して継続してほしい。子どもたちだけではなく、相談できる機関が学校のほかにあるというのは、親としても安心できる環境であると思う。

事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	生徒指導委員会	担当者名	向中野 純子

事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> 野辺地町内の小・中・高、及び関係機関が一堂に会し、互いの取組や学校の状況について情報共有をし、町の子どもたちが安心して学校生活を送るための取組につなげる。 問題行動や生徒指導上の未然防止や早期対応等について、学校と関連機関がそれぞれの立場から最新情報について資料提供、意見交換することで相互理解、生徒指導担当教員のスキルアップにもつなげる。 		
	事業の対象		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	10千円	10千円

事業の実績・成果等 (数値)	予算：教育振興会主催の事業であり、運営に係る費用は町からの補助金となる。 回数：年5回会議を開催。小中高連携で春、夏休み明けに登校時の挨拶運動。 成果：互いの取組を参考にしながら、問題解決に共に取り組んだ。
	長期休業中の過ごし方（注意喚起）、登校指導（小・中・高連携で挨拶運動）、生徒指導上の最新情報や対応について情報交換し、取組の改善につなげた。

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	町内の学校と関連機関が情報共有できる機会は貴重である。連携により生徒指導上の課題について協働して取り組むことができ、問題行動の予防、研修につなげることができた。 この会でしか手に入らない情報等も多数ある。単に情報提供だけでなく、関連した質問や話題提供もあり貴重な機会となっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> 全国でもSNS使用等による犯罪の低年齢化もあるので、外部機関と情報共有や連携を図れていることは心強い。 情報共有ができていないことと、ここでしか手に入らない情報があると知り、早期対応が可能なのでぜひ継続してほしい。 これから特に必要な事業であると思う。こどもの人数は減ってきているが、様々な問題は減っていないと思うので、状況に合った判断をしていただいて、見守りを続けてほしい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> SNS利用の低年齢化が進んでいる。保護者への啓発について町主導で対応してほしい。 小、中、高、関係機関が連携して情報共有と意見交換できる機会は重要だと思う。 今後も情報を共有しつつ、お互いの問題を十分に理解し合える場となることを希望する。

事務事業評価シート

施策名	キャリア教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	職場体験、職業講話	担当者名	古林 輝樹

事業の目的・内容	一人一人のこどもが自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成を図るため、小中学校等の教育活動を支援する。		
事業の対象	中学校、小学校		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円

事業の実績・成果等 (数値)	新型コロナウイルス感染症対策のため、一部実施方法等を変更して実施した。		
	①職場体験		
	野辺地小学校（6年生）：町内9事業所		
	野辺地中学校（3年生）：町内外26事業所		
	②校外学習（町内外へのバスの手配。講師等の協力）		
生活科、社会科、進路学習、総合的な学習の時間への支援			
③地域貢献での連携			
野辺地小、修学旅行先での野辺地PR			
歴史民俗資料会との連携（のへじ検定、ふるさと学習ほか）			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
	自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
	評価説明及び考察、課題	新型コロナの影響もあるなか、小・中学生の職場体験や校外学習および地域貢献での連携について実施方法を工夫して学習することができた。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了			

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<p>・ふるさと学習の継続。職場体験を再開しているので、支援を増やす配慮をお願いしたい。</p> <p>・社会の先輩から学ぶ体験やお話というのは、学校の先生や親から学ぶことと価値観が違うので、こどもたちに印象が残る良い授業だと思う。</p> <p>・コロナ禍でも工夫して実施されたことに対して心から感謝します。更なる上を目指して、こどもたちの成長のために良き物にたくさん触れるチャンスを与えてほしい。</p> <p>・身近な人の講話や体験を聞くことにより知らなかった分野を見ることは、新しい発見や興味を抱かせることに繋がるので、継続してほしい。</p>
--

評価委員意見(令和5年度)

<p>・学校まかせにならないような町としての支援体制を強化してほしい。</p> <p>・職場体験や講話、地元を深く理解することやPR活動は、普段の授業では経験のできない貴重な体験だと思う。</p> <p>・モデリングになるいろいろな立場の人たちに出会ったり、自分の力になっていけるような体験をたくさんして、視野を広げていける場となっているので、今後も継続を希望する。</p> <p>・社会体験、地域学習のためにも必要と考える。</p> <p>・学校、家庭ではできない体験をこの事業により実施できるのは、参加するこどもたちにとってはとても貴重な経験だと思う。普段なんとなく見ていた近所の人、仕事と向き合った時の姿勢にはっとして、様々な業種に興味湧ききっかけの場であると思われる。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	キャリア教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	人財育成事業	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	町内の高等学校に在籍する生徒を対象に、長期休業中に民間の学習塾講師を招致し、短期講座を開催する。生徒の学力を向上することで町内高等学校の4年制大学進学率の向上を図り、町内高等学校の魅力づくりに寄与する。 また、学力向上支援事業として外国語によるコミュニケーション能力を養うための短期間海外研修に係る費用を助成する。		
事業の対象	町内の高等学校に在籍している生徒		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	1,122千円	1,179千円

事業の実績・成果等 (数値)	○高校生短期講座		
	夏期：令和5年7月31日(月)～8月4日(金) 場所：野辺地町中央公民館		
	【参加者】	2年 野高 2名、西高 2名	計 4名
		3年 野高 10名、西高 2名	計 12名 合計16名
	冬期：令和5年12月24日(日)～28日(木) 場所：野辺地高等学校		
【参加者】	1年 野高 5名	計 5名	
	2年 野高 10名、西高 1名	計 11名 合計16名	
【学習内容】国語、数学、英語			
○海外研修 休止			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	参加した生徒からは「問題を解くポイントを説明してもらって、解く速さや本文、設問の理解力が上がった」など肯定的な意見が大半であり、生徒の学力向上に寄与していると思われる。 また、保護者に「次もこのような講座を開催した場合、子どもを受講させたいか」というアンケートをとったところ、「思わない」と回答した者はいなかったため、引き続き事業を実施していきたい。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	A	B	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続を望む。 ・ 受講料無料で学校と違う授業を体験できて、生徒一人一人のためになる良い事業だと思う。 ・ 勉強の仕方が理解できると学力を向上させることが可能になるので、今後もぜひ続けてほしい。 ・ 学力向上は野辺地町のレベルを上げることにも繋がるので、更に重点を置いて継続してほしい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力、進学率の向上により、将来的には生徒数が増えることを期待する。 ・ 学ぶことへの楽しさをこの事業を通じて体験し、さらなる向上を目指すチャンスになると思うので、継続を希望する。 ・ 地元高等学校の学力レベルを向上させる取組であり、参加者を増やす取組と合わせて継続してほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	特別支援教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	スクールサポーター配置の充実	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	町内学校において障害をもつ児童生徒や学習が遅れがちな児童生徒等の、特別な支援を必要とする児童生徒の生活や学習を支援するためのスクールサポーターを設置する。			
事業の対象	町内小・中学校			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	16,915千円	22,186千円	33,308千円

事業の実績・成果等 (数値)	○配置人数の推移					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	野辺地小学校	4人	5人	5人	5人	6人
	若葉小学校	5人	5人	5人	5人	6人
	馬門小学校	2人	2人	1人	1人	
	野辺地中学校	2人	2人	1人	1人	2人
	○R4年度特別支援教育支援員スキルアップ研修参加状況→11名(内新規採用者1名)					
	○R5年度特別支援教育支援員スキルアップ研修参加状況→14名(内新規採用者2名)					

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
評価説明及び考察、課題	町内学校においては、特別な支援が必要な児童生徒は年々増加傾向にあり、学校が要求するスクールサポーターの人数も増えてきているため、令和5年度は小・中学校に1名ずつ増員して配置した。今後も企画財政課と調整しながら、できる限り学校の要望に応じていきたい。 研修に関しては、町教育委員会主催の特別支援教育支援員スキルアップ研修にスクールサポーターを参加させ、発達障害等の児童生徒に対する学習支援の実践的な知識などを習得した。	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・増員をお願いしたい。(可能であれば町教諭の採用も検討していただきたい) ・保護者も安心して特別な支援を要するこどもたちを学校へ通わせることができるし、何より全ての子どもたちが不自由なく授業に参加できると思う。 ・目をかけ手をかける子が増加しているように感じている。これからもより良いサポートによって、担任教師がスムーズに学びの場で力を出せるように継続が必要である。 ・スクールサポーターの方々の資質がとても高く、先生やこどもを支える姿勢がとても好感を受ける。更なる継続を期待します。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・町採用教諭も検討してほしい。 ・今後も必要不可欠な事業だと思う。 ・教職員の仕事は多く、勉強を教えるだけでなく日常の生活指導も含め細かく目を配り、トイレに行く間が無いくらいの時もある。一人一人のこどもたちが気持ち良く安心して学ぶ場に、スクールサポーターが必要な手となり足となり、共に協力して見守れるので、今後1クラス1人という形で配置されることを希望する。 ・配置人員も増加しており、今後も継続をお願いしたい。 ・先生方の負担の軽減はもちろん、こどもたちにとっても目をかけてくれる大人が多いことは不安の解消にもつながると思うので、継続を希望する。
--

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	英語で元気なまちづくり事業	担当者名	清水目 唯那

事業の目的・内容	英語指導を行う外国語指導助手（ALT）の派遣事業。小学校からの英語コミュニケーション能力育成により中学校への円滑な移行を図るとともに、幼少期からの英語指導により英語教育に順応しやすい児童生徒の育成を図る。		
事業の対象	児童生徒、一般町民		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	11,081千円	11,727千円
			令和6年度予算
			11,634千円

事業の実績・成果等（数値）	令和3年度から外国青年招致事業（JETプログラム）による外国語指導助手2名を配置。 小学校2校に1名、中学校に1名を配置し、外国語の授業において担当教員の補助を担っている。 また、英会話クラブ（図書館サークル）の活動に参加し、大人世代の英語学習の場となっている。
---------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	授業での指導の他、一般町民向けの英会話クラブでも指導を行い、世代を問わず英語に触れる機会の提供ができ、英語コミュニケーション能力の向上に寄与したものである。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和4年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 優秀なALTに感謝している。継続を望む。 ・ 最近の世界情勢も激動の時代であり、英語の学びを通してそのようなことにも関心を持てることも育成に繋がる事業だと思う。 ・ 英語を話せることによって世界が広がる。この町で世界を知るまちづくり事業を進めてほしい。
--

評価委員意見（令和5年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの頃から生の英語に触れられることはとてもいい事だと思う。 ・ これからの社会は、英語を話せる人材が必要と思う。今後も英語が話せる、学べるチャンスを増やし、世界を知り、外国人が野辺地町を訪問しても紹介できるような町民が増加することを望む。 ・ 英語教育は大切であり、継続が必要と考える。ALTの町のイベントへの参加などで、活動のPRも大切かと思う。 ・ 小・中学校でのALTの活動は、大変有意義だと思っている。町民のための活動はもう少し周知して、知ってもらう必要がある。
--

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	ICT環境整備及び活用に向けた教職員の研修	担当者名	中村 悠貴人

事業の目的・内容	<p>国は「GIGAスクール構想」を掲げ、児童生徒1人1台端末の実現とそれらの高速大容量の通信を可能とする環境の構築を推進するため、これらに係る補助金が新設された。</p> <p>本事業は、子供たちの資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を図るとともに、活用のための研修を実施するものである。</p>		
事業の対象	町内小・中学校		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	10,374千円	14,006千円
			令和6年度予算
			11,612千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>■ICT支援員の配置 青森大学ソフトウェア情報学部の学生7名をICT支援員(採用形態は会計年度任用職員)として採用し、授業や校務でのICTサポートを主な業務として1年間任用した。(野小2人、若小3人、野中2人)</p> <p>■ICT研修会の開催(令和5年8月9日) 対象:小学校5学年担当教員 内容:学習状況調査にかかるMEXCBTの活用について(オンライン学習システム) 県学習状況調査において紙ではなくコンピューターでテストを行うための操作方法や概要を説明した。</p>		
---------------	---	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>学校におけるICTは、「とにかく使えばよい」というわけではなく、授業において、より効果的に指導するためのツールとして使うべきものである。現状としては、先生方の創意工夫により多様に活用されている。</p> <p>今後は、校務の効率化のために必要な事業を行っていくことが必要であり、教員の業務効率化による働き方改革を行い、教員の業務負担軽減、教材研究の時間確保、児童生徒と接する時間の確保へとつなげることが、町の教育施策として重要である。</p>		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	A	B	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・町民に対するPRを強化してほしい。 ・現在の教科書には二次元コードが多数あり、それらを授業で先生方がどのように活用するかも専門的な知識が必要となるので、有効な事業だと思う。 ・研修の継続を希望する。 ・ICTの活用により、仕事の内容が充実するようになっていただけたらと思う。 ・情報社会に対応するため必要な事業なので、更なる重点を置いて継続を希望する。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員の資質向上を願う。 ・ICTはこれからも進歩し続けると思うので、先生方への継続的な研修の実施、サポートをお願いしたい。 ・継続を希望する。 ・これからの社会では必須の事業なので、活動の継続を希望する。
--

事務事業評価シート

施策名	研修の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教職員ふるさと研修	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	新たに当町に着任した教職員等を対象に、当町の歴史や文化、特産品などを紹介することで、当町に興味を持ってもらい、当町の特性をよく理解してもらうことで、社会科の地域学習をはじめとした指導力の向上を図る。		
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭等として新たに任用された職員（初任者） ・野辺地町に初めて着任した教職員 ・5年以上野辺地町を離れていた教職員 		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	2千円	2千円
			令和6年度予算
			2千円

事業の実績・成果等 (数値)	○視察場所 歴史民俗資料館、行在所、常夜燈公園、みちのく丸、藩境塚 柴崎地区健康レクリエーション施設、まかど温泉スキー場（ハッチョウトンボ観察） 松浦食堂（昼食：松浦さんによる郷土料理）
	○講師：歴史を語る会 会長 鈴木幹人、教育委員 野坂幸子 ○研修参加者：教職員11人 ○【アンケート結果】大変有意義だった4名、有意義だった5名、まあまあだった1名、もの足りない0名、非常に不満足0名、未回答1名

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
自己評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	農協や漁協荷捌場が見学できなかったが、代わりに柴崎地区健康レクリエーション施設の見学を加えるなどして対応できた。 アンケート結果については、「初めてハッチョウトンボを見ることができた」、「社会科の単元とつなげて指導できそう」など、ほぼ肯定的な意見であった。 「八幡宮や海水浴場にも行ってみたい」という意見もあったので、来年度はその意見を取り入れて継続していきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続を望む。 ・このような研修があることで、先生方が野辺地町について詳しく知識を持ち、こどもたちに還元することができると思う。 ・野辺地町は歴史ある町なので、他町の人から羨ましいと言われたことがあるほどです。もっと町の良いところを知ってほしい。 ・参加している方々の声にあるよう大変有意義な事業なので、新しいことも取り入れつつ更に継続を希望する。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続を望む。 ・教職員の方々に野辺地町を深く知ってもらうことで、授業での活用や児童生徒とのコミュニケーションに役立つと思う。 ・知るにより気づきが生まれ、人生が豊かになるきっかけとなっている研修だと思う。これからも継続を望む。 ・町の歴史や現状を知り、それをこどもと共有できる取組なので継続してほしい。 ・自分が着任した町への知識を深める事業なので、さらに継続を希望する。

事務事業評価シート

施策名	研修の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	初期層研修	担当者名	向中野 純子

事業の目的・内容	目的：週1回の研修の積み重ねにより、若手教員の授業力向上を図る。 内容：教材研究（特に算数）。次週の授業に向けての押さえるべきポイントの確認、指導がうまくいかなかった原因と改善方法などについて、週1回、個別に指導者と一緒に教材研究をし、授業で大切なポイントを学ぶ時間を確保する。		
事業の対象	対象：初期層（新採2年目～3年目）の教諭（小学校学級担任）。 実施日：火曜日：若葉小学校、木曜日：野辺地小学校、16:00～16:30 場所：学級担任として教えている教室。		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円
		令和6年度予算	0千円

事業の実績・成果等（数値）	児童生徒が安心・安全に学校生活を送り、成長するためには、学級経営がしっかりしていること、何より「知的で面白い授業」が展開され、児童生徒自身が「分かる・できる」と感じ、学ぶ楽しさを実感できることが大切である。そのためには、授業力の向上、授業改善が欠かせない。 良い授業づくりに必要な「教材研究」への取り組み方を採用3年目までにしっかり学び、初期層の教諭が自信をもって授業の指導に当たることができるよう、授業構成のアドバイスをを行った。 各校とも初任3年目の教員が参加したが、授業力、指導力を上げて2校目に異動した。
---------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	各訪問授業の様子を観てみると、指導・助言を行い始めてからの授業は、以前よりも児童の声に耳を傾ける指導が増えてきたように思われる。その結果、良好な学級経営が行われつつある。週1回訪問するため、教材研究以外の相談に乗ることもあった。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見（参考：令和4年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> ・初期層（2、3年）の幅を新規2校目にも拡大して対応していただけないか。 ・先生方もまずは自身の教育スタイルに対する不安を無くし、自信を持って子どもたちを指導してほしいので、良い事業だと思う。 ・良い人材育成のためにも必要な事業なので続けてほしい。 ・教職員の方々の知識の向上と様々な経験を重ねることで、子どもとの関わり方に進歩が見えるので、更に重点化して頑張してほしい。

評価委員意見（令和5年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・十分成果が上がっているようなので、これからも継続をお願いしたい。 ・何歳になっても専門分野の領域を広げるための学びは必要なので、今後もスキルアップにつながるようにこの研修を続けてほしい。 ・参加されている先生方が、アドバイスを参考にスキルアップにつながっていると実感しているという報告なので、継続を希望します。 ・対象の幅をもう少し広げることも可能なのか。
--

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育連携パートナーシップ協定事業	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	町教育委員会（小学校・中学校）と高等学校が連携・協力し、活力ある個性豊かな教育活動をより一層推進することを目的として、教育連携パートナーシップ協定を県立野辺地高等学校及び八戸学院野辺地西高等学校それぞれと平成30年7月に締結した。 また、連携事項を円滑に推進するために「野辺地町教育連携推進会議」を設置した。会議は必要に応じて開催し、連携事項について報告・協議等を行う。		
事業の対象	教職員及び児童生徒		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円

事業の実績・成果等（数値）	● 第1回野辺地町教育連携推進会議 令和5年10月23日（中央公民館）
	● 主な連携事項 ・小学生対象の寺子屋事業、中学生対象の体育実技演習（野辺地高校） ・のへじ祇園まつりでの山車の制作及び運行（野辺地西高校） ・高校生に対する人財育成事業（学力向上事業、競技スポーツ強化支援） ・在学青年ボランティア会（地教委）等

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	B	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
------	---	-----------------------

評価説明及び考察、課題	教育連携パートナーシップ協定を締結することで、連携の目的や内容をより明確にすることができている。 令和5年度はコロナ5類移行に伴い、野辺地西高校が参加している祇園まつりに、野辺地高校もボランティアで参加するなど、それまでできなかったことができたと思う。 今後も連携推進会議の中で、現在実施している連携事項を見直ししながら、必要に応じて新たな連携事項について検討、実施していきたい。
-------------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和4年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校の意図が小中学校にも広く伝達されるように望む。 ・ より深く小学校や中学校の子どもたちと触れ合える事業を増やしてほしい。 ・ たくさんの人との関わりの中で得るものがあると思う。モデリングとなる人との出会いにより視野が広くなり、成長するきっかけとなると思う。
--

評価委員意見（令和5年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代や学校を超えた連携はすばらしい取組だと思う。 ・ 町内にいてもなかなか様々な立場の方々との交流はできないが、この事業ではコミュニケーションを体験できるので、これからも継続を希望する。 ・ 高校生の頑張りがもう少し町民に分かるように、広報の工夫がほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校施設営繕・設備保全	担当者名	柴崎 駿

事業の目的・内容	教育施設の維持管理及び修繕工事を実施し、安全・安心な学校づくりを目指している。		
事業の対象	各小・中学校		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	26,646 千円	10,837 千円
			令和 6 年度予算
			4,435 千円

事業の実績・成果等 (数値)	■実施工事		
	(1) 小学校		
	・小学校電動昇降機改修工事(野小、若小)	[決算額: 1,628,000円]	
	・野辺地小学校講堂機械室煙突改修工事	[決算額: 2,750,000円]	
	・キュービクルフェンス改修工事(若葉小学校)	[決算額: 689,700円]	
	・若葉小学校配電線路修繕工事	[決算額: 2,026,200円]	
	(2) 中学校		
	・野辺地中学校南側駐車場植栽工事	[決算額: 481,800円]	
	※その他、修繕等実施		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	限られた予算の中で児童生徒の安全を最優先に改修等を実施している。改修にも限度があり、全小学校施設における老朽化への対応策が課題となっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<p>・統合小学校の動きもあるが、現状は常に改善できるような対応の継続を望む。</p> <p>・今年度は特に暑く、令和3年度にエアコン整備されていたことに感謝している。また、故障等した際に長期停止とならないように対応してもらいたい。</p> <p>・エアコンがあることで本当に良い環境で学ぶことができ感謝です。電気代がとても心配です。各学校にも現状を話して、よく管理してもらうようにした方が良いと思う。</p>

評価委員意見(令和5年度)

<p>・児童生徒の安全を最優先にお願いしたい。</p> <p>・何をやるにしても、環境が整っていなければ目標に向かって歩むことが困難である。しかしこの事業を通して学校環境が改善され、大変感謝している。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教材備品等の整備	担当者名	柴崎 駿

事業の目的・内容	教育課程にもとづき授業を実施する上で、児童・生徒の心身の向上や能力向上のために必要な備品及び学校運営に必要な備品を購入するもの。 また、古くなった既存の備品や故障等で使用できなくなった備品を廃棄し、新規購入するもの。			
	事業の対象 教員及び児童・生徒			
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算
	金額	2,863 千円	1,514 千円	2,160 千円

事業の実績・成果等 (数値)	教材備品等購入費（消耗品として購入した教材を除く） ○野小：404,940円、若小：671,094円、野中：437,800円 理科教育設備等の備品購入（隔年事業） ○事業費 2,439,800円 ○補助額 1,219,000円 野辺地小学校1,371,700円 若葉小学校963,600円 野辺地中学校104,500円		
	毎年11月末の来年度当初予算編成へ向け、各小中学校が必要な備品を取りまとめ教育委員会へ提出。教育委員会は学校が要望した備品について担当者から聞き取り、必要性を検討、精査してから町部局へ予算要望している。		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	当初予算作成の際、各学校へは必要性を精査した要望をお願いしているが、必要な備品であっても査定により削減される場合が多い。 また、教材備品等においても値段が高騰しており、当初予算要求の時点の金額では購入できないものも多いため、適宜購入物品を調整しているところである。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合小学校の動きもあるが、現状は常に改善できるような対応の継続を望む。 ・ 教材備品も値上がりしているということで、予算確保も大変だと思うが、教育のためなので前向きな整備をお願いしたい。 ・ 必要の高い順から購入をお願いします。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた予算の中で調整等大変だと思うが、児童生徒が充実した学校生活を送れるようにお願いしたい。 ・ 物価が高くなっているの、必要な物から購入しなくてはならないのが現状と思う。今後も予算の中で何とかやりくりをお願いしたい。 ・ 学習環境の向上のため、予算確保をお願いしたい。
--

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小学校新築事業(新規)	担当者名	柴崎 駿

事業の目的・内容	既存校舎の躯体・設備全般における老朽化の解消と、学校の小規模化による諸問題の解消を図るため、国庫補助金を活用しながら統合小学校の新築を行うもの。		
事業の対象	野辺地小学校改築工事及びその他関連事業		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	1,155 千円	12,570 千円
			令和 6 年度予算
			99,490 千円

事業の実績・成果等(数値)	令和4年度に耐力度調査の予備調査を、令和5年4月には予備調査の精度を上げるための追加調査を実施したところ、国が定める耐力度の基準を下回り国庫補助金の認定の見込みが立ったことから、統合小学校新築事業の土台となる「統合小学校新築事業基本構想」を策定するため検討委員会の設置と、その運営を補助するための基本構想策定支援業務、その他関連業務を実施しました。		
	○統合小学校新築事業検討委員会(全10回) ○統合小学校新築事業関連業務 ・野辺地小学校校舎等耐力度予備調査追加業務 [決算額: 550,000円] ・統合小学校新築事業基本構想策定支援業務 [決算額: 1,320,000円] ・野辺地小学校石綿含有建材等事前調査業務 [決算額: 385,000円] ・野辺地小学校石綿含有建材等分析調査業務 [決算額: 10,314,150円]		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	慎重に事業を進めるために、設計業者による積算や助言をもとに、教職員、保護者、議員、一般町民からなる検討委員会で十分に議論を行いながら、今後の事業のベースとなる基本構想を策定した。 人件費、材料費等が高騰を続けている状況なので、事業費については常に精査を行いながら事業を進めている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	—

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

評価委員意見(令和5年度)

・担当課評価のとおり。

・大きな事業なので、何をするにも心配りがかかせない。今後も良い物を良い形にして後世に残すために、大変だと思いが進めていってほしい。

・大きな事業であり、十分慎重に進めてほしい。

・慎重な議論のもと、常に精査しながら事業を進めていただいているようなので、その姿勢でこれからも活動の継続を希望する。

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	野辺地町立学校における働き方改革	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	令和2年9月に策定した野辺地町立学校における働き方改革プランに則り、長時間勤務の更生を図ることで、教職員の健康及び福祉を確保し、意欲と能力を最大限発揮して、子どもたちに効果的な教育活動を行うことができるようにする。		
事業の対象	教職員		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円
			令和6年度予算
			0千円

事業の実績・成果等 (数値)	主な取組		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校閉庁の実施(令和5年8月10日、14日～16日) ・教職員の意識改革のため、他市町村の業務改善に係る好事例の周知 等 		
	時間外労働時間集計[R5]		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 1人あたり月22.8時間(R4年度1人あたり月24.7時間) ・中学校 1人あたり月47.1時間(R4年度1人あたり月41.5時間) 		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	時間外労働時間の昨年度同時期との比較では、小学校が減少しているため、効果はあると思われる。 24ページにあるICT環境整備は働き方改革につながる部分があるので、今後はそちらと併せて継続し時間外労働の減少に努め、子どもたちへの効果的な教育活動につなげたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・時間外の時間数だけでは判断できない学校の負担として、外部(各種団体、保護者等)への対応もあることは行政側でも共有してほしい。 ・時間外労働を減らし、子どもたちへの効果的な教育活動に繋げるという課題についてはとても難しいことですので、成功例がある学校のモデルを取り入れて、働き方改革に繋げてほしい。 ・先生方の健康(心と体も)が守られるような働き方改革となってほしい。 ・教職員の勤務時間がなかなか改善されなくて大変残念である。原因がどこにあるのか、解決する方法があるのかを見つけてもらいたい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する啓発は、町側が主体となって実施してほしい。 ・教職員の仕事量が適正なのか検証も必要かと思う。もし必要であれば教職員の増員や、13ページのような支援員の配置の検討も必要ではないか。 ・残業しなければならないそれぞれの事情があると思う。授業の準備はもちろん、児童・生徒の指導、保護者等の対応など苦勞が多い中、スムーズに事が運び、ストレスがないような形をとれるようになってほしい。 ・教職員の確保のためにも大切な事業と考える。 ・町で制定した改革プランがうまく機能していないようなので、関わっているの方々がお互いのために、早目の問題解決及び原因の追及を行ってほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育広報の発行	担当者名	柴崎 駿

事業の目的・内容	平成23年度から、教育施策及び行事等を紹介するため、教育広報「のへじの教育」を発行。 令和2年度からは年1回の発行としている。		
事業の対象	町民一般（各家庭に毎戸配布）		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	83千円	99千円
			令和6年度予算
			124千円

事業の実績・成果等（数値）	令和5年度は令和6年4月1日に第17号を発行（6ページ）。		
	掲載内容 ・統合小学校新築事業 ・教育委員会の主要事業 ・教育予算概要 ・町内各学校の取り組み ・各団体募集 ・野辺地町まかどスポーツセンター開館 ・みんなの教室紹介		

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・町広報や学校だよりでは紹介しきれない、教育委員会の業務や学校の活動について掲載することができ、教育委員会の透明性に努めている。 ・紙面スペースの関係で紹介する事業に限りがあることから、年度によって、紹介する事業を変えている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和4年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> ・町民の方々からの広報に対するリアクションがあれば公表するなど、一方的にならない工夫を望む。 ・教育委員会の各種活動について、広く町民に知ってもらう機会となるものなので、今後も発行を継続してほしい。 ・教育の町「野辺地町」ここにあり、というような教育広報が、一人でも多くの町民に届けられたらと思う。

評価委員意見（令和5年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算で大変だと思うが、表紙の写真だけでもカラーにしたらインパクトがあると思う。 ・具体的な分かりやすい教育広報が町民へ届けられることを希望する。 ・年1回の発行では「教育の町」とうたっている町としては、思いが薄いのではないかととらえられても仕方がないと思われる。
--

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校給食共同調理場
事務事業名	給食費の未納対策強化	担当者名	寺澤 いづみ

事業の目的・内容	学校給食費の滞納額を減少させる。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度以前分は、死亡・所在不明者や所得が低い者が多いので不納欠損処分を検討する。 ・児童手当の充当により滞納額減少に努める。 ・要保護世帯分は、学校長から上北県民局に納付依頼し年度末に全額徴収する。 ・準要保護世帯は、給食費免除としている。 		
事業の対象	給食費未納額 14,180,750円(R5.6.1現在)		
	昭和63年度分から令和4年度分未納世帯		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円
			令和6年度予算
			0千円

事業の実績・成果等(数値)	徴収対策		
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月電話催促、納付書の送付 ※年4回催告書/督促状2回送付 ・児童手当から引落しにより 2,056,520円を給食費に充当 ・新規利用者に「給食利用申込書」の「児童手当から引落しを承諾する」を記載依頼 ・給食費滞納世帯へ少額納付書の送付 (1枚2,000円×5枚) ・R5 滞納繰越額 264,680円＝調定額 38,014,450円 - 収納額 37,749,770円 ※255,160円収納済み 		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果	R5年度 滞納分徴収額 439,020円	
	課題	不納欠損処分ができるよう今後対策を考える。 保護者の死亡や住所不明者及び高齢者による徴収不能世帯が多い。	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続を望む。 ・毎月徴収業務を諦めず実施しているということで、お疲れ様です。本当に大変な仕事だと思いますが、よろしくお願ひします。 ・モラルの問題なのか支払うことに対して意識が低いのかは理解できないが、毎月諦めず集金して下さってありがとうございます。 ・頑張って続けてほしい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・徴収業務は大変な作業だと思う。少しでも滞納額が減少するようにこれからもお願ひしたい。 ・継続を望む。 ・給食費が無償化となると言っても未納分は解消されないと思うので、頑張ってほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	就学援助事業	担当者名	中村 悠貴人

事業の目的・内容	経済的な理由で町立小・中学校への就学が困難な家庭及び特別支援教室等で就学している児童生徒世帯への就学援助事業。		
	支給費目は、学用品費、通学用品費、体育実技用具費、新入学学用品費、校外活動費など。		
事業の対象	野辺地町内の小中学校に通う児童生徒及び町内から他町村学校に通う児童生徒		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	6,591 千円	5,024 千円
			令和 6 年度予算
			7,319 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○就学援助費（要保護・準要保護）		
	小学校：48人	支給実績：996,917円	
	中学校：52人	支給実績：2,946,059円	
	○特別支援教育就学奨励費		
	小学校：18人	支給実績：667,101円	
	中学校：8人	支給実績：413,080円	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	保護者の収入に関わらず全てのこどもが等しく義務教育を受けられるよう、また特別支援学級就学という特殊事情を考慮し、家庭の負担を軽減するため、今後も学校と情報共有を行いながら、援助が必要な世帯に支援を行っていく。 特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級の在籍者数が増加傾向にあり、援助額が増えていくことが考えられる。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<p>・継続を望む。</p> <p>・様々な状況で望まずして生活に困窮する町民の方がいるので、明日は我が身と思うところがある。必要な人に支援をよろしくお願いします。</p>
--

評価委員意見(令和5年度)

<p>・平等に教育が受けられるように継続をお願いしたい。</p> <p>・世の中の物価が高くて、何を購入するにも大変な時代になっている思う。少しでも安心して準備ができるようになってほしい。この事業に助けられて感謝している町民がいると思うと、とても嬉しくなる。</p> <p>・必要支援と考えるので、是非継続してほしい。</p>

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	新型コロナウイルス感染症への対応	担当者名	古林 輝樹

事業の目的・内容	国内における感染が拡大していることから、学校における対応や国庫補助金を活用して感染症対策に係る物品等を購入した。		
事業の対象	小中学校ほか保護者		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	3,429 千円	171 千円
			令和 6 年度予算
			0 千円

事業の実績・成果等(数値)	①学校における対応 感染防止対策の観点から、運動会や修学旅行は日程を短縮して行った。 ②感染症対策のための学習環境の整備、換気に係る物品の購入(国庫補助金) ③スクール・サポート・スタッフの学校配置 感染症対策により教員の業務が増加することから、教員をサポートする人員を県事業により各小学校に1名を配置した。 ④メール配信システムの活用 令和2年度より小中学校の保護者及び教職員、学校関係者にメール配信できる新システムを導入し、感染症対策の徹底を呼び掛けた。
---------------	---

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・学校ではコロナ対策に十分注意を払いながら、日常の教育活動や行事等を行った。 ・保護者へのお知らせやお願いなど、メール配信システムを活用することにより即座に伝えることができた。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

・継続を望む。 ・季節性インフルエンザと同等の扱いになりましたが、感染力の強いウイルスなので、今後も適切な指導や呼びかけをお願いします。 ・コロナに対する保護者の知識も増え、どのような対策が有効的なのかを理解してきた。今の状況の中でやれることを的確にやっているのではないかとと思う。

評価委員意見(令和5年度)

・コロナに特化した対応は終了し、通常の感染症対策を継続すればよい。 ・学校内での感染症対策をこれからもお願いしたい。 ・新型コロナウイルス感染症は、現在もなくなっていないが5類となり、コロナ対策も以前とは異なってきているので、休止となってもさしつかえないと思う。 ・今後も注意を怠らないようお願いしたい。

事務事業評価シート

施策名	学校支援活動	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校支援推進事業	担当者名	清水目 唯那

事業の目的・内容	学校が地域と一体となっており、子どもを育む、地域とともにある学校づくりを目指す。地域住民による学校支援活動の充実と一層の活性化を推進する。		
事業の対象	各学校		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	60千円	244千円
			令和6年度予算
			80千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>・学校支援ボランティア活動を各学校ごとに実施 登下校の指導(見守り隊)、部活動の指導、水泳教室での指導、環境整備などさまざまな学校支援活動を地域の住民等の参画を得て実施した。</p> <p>野辺地小学校 見守り隊18名 若葉小学校 見守り隊23名 学校支援24名 野辺地中学校 学校支援13名 合計78名</p>		
---------------	---	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input type="checkbox"/> 達成できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	見守り隊や学校支援ボランティアとして学校支援活動を行ってくださる方へ対し、ボランティア保険に加入している。また、令和5年度は見守り隊の物品として、防寒靴を配布した。 見守り隊については、町広報で隊員の募集を定期的に行った。しかし、見守り隊員に高齢の方が多く状況は続いている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	A	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<p>・年齢層が高くなっている現状をふまえ、町内会、スポ少を含む各種団体、町内企業等との連携を検討してはどうか。</p> <p>・地域の方々が御協力して下さる見守り隊の活動は、子どもたちが安全に登下校できるだけでなく、挨拶もよくできる子どもたちに育つので、心より感謝いたします。</p> <p>・地域の方々のボランティア精神に心から感謝している。見守りの目があると親も本当に助かるし心強い。継続を希望する。</p> <p>・見守り隊の募集については広報だけでの案内では不十分だと思う。一人一人声掛けし、お願いする形でなければ高齢化とともに年々減っていくと思われる。</p>
--

評価委員意見(令和5年度)

<p>・PTAと連携した募集(PTA会員の父母など)や学校行事で来校した方に募集の案内をしてみるのはいかがでしょうか。</p> <p>・ここ数年、車での児童・生徒の送り迎えが増加。特に雨天時や雪の日は歩いている姿をほとんど見ることがなくなっている。下校時は歩いている児童が朝よりは多いので、見守り隊の方々の働きには本当に心から御礼を申し上げたい。高齢化も進んでいるが、これからも継続を希望する。</p> <p>・見守り隊の方々も高齢者が多くなっていると思うが、子どもたちの安心のため継続してほしい。</p> <p>・学校支援ボランティア、見守り隊の皆様への活動には心から感謝いたします。見守り隊の高齢化は大変気になるので、広報での募集だけではなく、様々なツールを活用して実施してほしい。</p>

事務事業評価シート

施策名	学校保健の取組み	担当課名	学校教育課
事務事業名	児童・生徒各種健診及び教職員健診	担当者名	中村 悠貴人

事業の目的・内容	学校保健安全法第13条に基づき実施し、児童・生徒・教職員の健診等により適正な健康管理を行い、健康で充実した学校生活を送るため実施する。		
事業の対象	児童、生徒、教職員及び次年度就学予定の幼児		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	3,646千円	3,265千円
			令和6年度予算
			3,547千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>○児童生徒の健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(全学年)内科、歯科、耳鼻科、眼科、尿検査 ・(小1・3・5年、中1・3年)心電図検査 ・(保護者からの同意を得られた小5・6年、中2・3年)貧血検査 <p>○教職員健診等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日ドック・1日健診者以外の教職員を対象に7月に一斉に実施した。 ・公立学校共済組合のシステムを利用し、教職員向けのストレスチェックを実施した。 <p>○就学時健診</p> <p>令和6年度に小学校に入学する幼児(62名)を対象に令和5年10月25日に実施した。</p>
---------------	---

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
評価説明及び考察、課題	<p>各種検診については、担当者が養護教諭部会に参加して実施方法等の要望の吸い上げを行っている。</p> <p>令和5年度は2回にわたり教職員のストレスチェックを行い、高ストレス者が数名いたものの面接指導を希望した者は0名であった。教員の負担軽減に取り組むとともに、面接指導を受けやすいような体制づくりも必要と考えられる。</p>	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	A	B	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<p>・就学時健診は、全町あげての対応が必要である。人員増(他課への応援要請など)を望む。</p> <p>・児童生徒の各種健診については例年どおり問題なく実施されているので良いと思う。教職員の方で高ストレス者と判断された人のケアについても改善していく必要があると思う。</p> <p>・継続をよろしくお願いします。</p> <p>・見直すべき点を見直し、スムーズに運営できるようにお願いしたい。</p>

評価委員意見(令和5年度)

<p>・担当課評価のとおり。</p> <p>・今後も継続を希望する。</p> <p>・児童・生徒と教職員の心身の健康管理について、万全を期して継続してほしい。</p>
